

三重県私費外国人留学生奨学金留学レポート

オウ ガンさん

鈴鹿大学 国際人間科学部国際学科

2019年1月更新

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

専門はビジネスマネジメントです。今年主に工場などの生産管理や、販売管理、ブランドマネジメントを勉強しています。二年生の時習ったことと似ているところもありますが、前よりだいぶ深くなりました。今回経営戦略論という講義も履修しています。各業界のリーダー、チャレンジャー、ニッチャー、フォロワーの企業を分析してデータを調べると自分の考えと外れるところもあることに驚きました。つまらなさそうですが、勉強すればするほど面白くなりました。あと、来年もう就職活動を始めるので、キャリアデザインもとっています。自己分析と模擬試験を毎週行い、就職活動の準備をしています。

・夏休み等の長期休暇には、どのように過ごしていますか。

前はアルバイトを中心しましたが、今年からもう来年の就職活動を行うので、どのようなところに就職するかと何の職業をするかについていろいろ調べました。8月に一時帰国しましたが、中国にいる時も行きたい会社は中国にあるかと、中国に会社を作る可能性も分析しました。

・クラブやサークル活動をしていますか。

前茶道部に入りたかったのですが、活動の時間が足りず叶いませんでした。しかし、イベントに参加をしました。

・出身国では、地震が起こりますか。現在、地震に対する備えをしていますか。

中国で地震が起こりますが、故郷の地域では地震がありません。地震について日常生活でもよく注意します。ハルビン地震局もあるし、学生時代も毎年地震についての避難訓練がありました。

・その他、ご自由にお書きください。

もう三年生であるため、来年から就職活動が始まります。すごく不安ですが、奨学金をいただいてバイトの時間を結構減らせて本当に助かりました。今就活について様々な方面から頑張っています。1月からインターンシップをするつもりです。いい仕事ができるように頑張って様々な経験もしたいと思います。

2018年10月更新

・専攻している科目の学習内容、成績について(難しいこと、熱中していること等)

ビジネス基盤コースを選んだので、ビジネスの授業を中心にとっています。今三年生ですから、授業がすごく難しくなりました。前期、マーケティング論、国際経営論、みえと国際社会など10科目の授業を履修しました。マーケティング論は一年生もとれる授業なので、まだまだ簡単ですが、国際経営論が難しかったです。両方ともブランド戦略を習いました。マーケティング論は地域ブランドを勉強して、国際経営論はグローバル・ブランドを勉強しました。ブランド品を買うとき全然考えたことがありませんでした。もちろん、三年生にとって、一番大切な授業は演習です。前期は鈴鹿市のC-busと伊勢鉄道の活性化についていろいろなことをしました。ゼミで自分たちが伊勢鉄道のキーホルダーをデザインしました。後でお土産として販売します。初めて自分でものづくりしました。すごく楽しかったです。

・留学によって、自分の中で変わったと思う部分がありますか。

自分がすごく強くなりました。留学する前、困ったことがあったら、家族も友達もすぐ手伝ってくれました。ですから、日本にきたばかりのとき、すごく大変でした。困ったときでも全部一人で解決しなければなりません。最初は泣くだけでした。今は新しい友達ができるので、困難があっても、怖がりません。そして、いつも自分から友達を手伝います。

もう一つは日本に来る前、友達は全員中国人でした。初めて日本の学校に入るとき、全然友達ができませんでした。なかなか外国人と交流がうまくいけませんでした。文化も違いますし、性格も少し合いませんでした。しかし、今はどの国の人でもすぐ友達になれます。やはり外国の文化を尊敬して、明るくみんなと話したら、みんないいイメージが残ります。最後は中国にいるときアルバイトしたことがありませんでした。日本に来て、初めてのバイトは大変でしたが、いい経験になりました。

・本奨学金も含め、一般的に奨学金に関する情報はどのように収集していますか。

学校の掲示板に貼っているポスターを見て、興味があったため、担当の先生に聞きました。そして友達から教えてもらった奨学金の情報もあります。教えてもらって、自分で奨学金のサイトを検索して詳しい情報を調べます。

2018年3月更新

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

二年生は専門のコースがまだ決まっていますが、ビジネスについての授業だけではなく、ほかのコースの授業、例えば、日本語教授法もとっています。それに、後期はビジネスの授業が少ないので、ビジネス基盤のほうはイノベーションマネジメントだ

けとっています。授業は自分の店を作った場合の、必要なコストについて、習いました。理論的なことだけではなく、実際に食堂でコーナーを作ったら、どのような手段を使ってお客さんが来るか、値段はいくらにして利益が出るかについてディスカッションして発表しました。面白くてみんな笑いながら知識をみにつけました。それから、あることに一番必要なものを抜いて新しいものを作ることをしてみました。私のグループはお金なしの旅行プランを作りました。バイトをしながら旅行することです。面白いです。

・日本を留学先として選んだ理由は何ですか。

私は日本の文化にずっと興味があります。子供時代、日本のアニメは中国ですごくはやっていました。そのときに日本の着物がきれいで、自分も着てみたいと思いました。またさくらも美しく、日本で花見したいとも考えました。そして私の中学校のとき、おばは日本人と結婚しました。それから、おばも誘ってくれて日本へ留学することになりました。ですから、中国の大学に入るとき専門は日本語を選んで、卒業してから日本に来ました。

・留学後の日本の印象は、留学前と比べてどのように変わりましたか。

あまりかわりませんでした。大体想像と同じです。一番びっくりすることは日本の物価です。来る前にも日本の物価が高いと聞きましたが、予想より高いです。あと日本人が思ったよりやさしいです。何回もとても困ったとき全然知らない人が手伝ってくださいました。そしてみんな時間を守ります。とてもいいことだと思います。

・出身地(気候、名所、名産、三重県からの行き方、三重県とのかかわり等)について

私の出身地は中国のハルビン市です。ロシアより近いですから、ロシア風の建物がたくさんあります。北のほうですから、冬は極寒で最低気温は-39度もあります。雪も結構降ります。毎年の冬、世界三大氷祭のひとつ、「ハルビン国際冰雪祭」が行われます。とてもきれいです。

ハルビンは太平国際空港があるため、三重県から中部国際空港を利用すれば、五時間くらいで着くことができます。

・前期に、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

2月齋宮で行われた外国人平安装束体験に参加しました。外国人としての私が日本の伝統的な服を着てみんなに見せることは多文化交流になると思います。それから、発掘体験も参加しました。陶器を発掘しました。日本の歴史をみにつけました。もちろん、イベントに参加してから、アンケートを書きました。外国人からの視点で意見を出しました。これからツアーがもっと良いものになると思います。

2017年11月更新

・あなたの留学目的は何ですか。

私は日本語が話せない方に助けてあげたいですから、未来の目標は自分の日本語学校を作ることです。この目標を達成するために、中国の大学に入るとき、専門は日本語を選びました。しかし、中国の生活では、日本語を使うことがないので、習っても話せませんでした。ですから、卒業を機会に、もっと高水準の教育と研究環境で自分を磨きたいと考え、日本に留学しに来ました。

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

ビジネス基盤領域を選んでいきます。この領域の中でマーケティング論、経済学、経営学などいろいろ科目があります。今まで勉強した科目は経済学総論、国際経済論、経営学総論、経営分析論、企業論です。経済学総論はミクロ経済学とマクロ経済学を習っていました。国際経済論は自由貿易協定、経済連携協定、関税同盟について習っていました。経営分析論は株式の売買を習っていました。企業論は主に独占禁止法を習っていました。

・現在の大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。

入学願書、高校の卒業証明書と成績証明書、日本語学校の卒業証明書と成績証明書、留学試験の結果、日本語能力試験合否結果通知書を提出しました。面接、口頭試験、日本語能力のテストを受けました。

・留学校を決めるにあたって利用した資料や機関はありますか。

四日市日本語学校の先生から鈴鹿大学をすすめていただきました。それから図書室で鈴鹿大学の資料を見て、この大学がいいと思い、後で学校のホームページでもっと詳しく調べて鈴鹿大学に入ることにしました。

・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。

私は勉強の雰囲気が一番気に入りました。そして、勉強したい科目がたくさんあります。学校が留学生にいろいろな支援がありまして、教育の施設もいいです。

・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

大学祭でゼミの友人と地雷コーナーをしました。いらっしゃったお客さんに地雷の種類と怖さを紹介しました。お客さんが帰る前にちょうちょうカードを書いてくださいまし

た。桜祭りでは先生と一緒にカラオケコーナーをしました。いろいろな国の方が日本の歌だけではなく、外国の歌もたくさん歌ってもらいました。そのほかに、学校のオープンキャンパスを手伝いました。